

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	0
施設名	八丁はなみずき保育園
施設所在地	武蔵野市中町2-21-14-103
法人名	一般社団法人ハナミズキ

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自分の周りの自然・環境 『太陽』
---------------------

<テーマの設定理由>

日頃より空を見上げて雲の動きを見たり、様々な形をしていることを発見して楽しむ様子がみられていたことから、太陽の光によって生じる変化を肌で感じる中で興味関心をより深めるため。
--

## 2. 活動スケジュール

①日向と日陰の温度の違い ②影について～地面にある黒いものってなんだろう～ ③影について～自分と同じ動きをしている！～ ④影ふみ遊びをしてみよう
---

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

良く晴れた日に園庭で遊ぶ機会を設ける。 良く晴れた日に散歩に出かけ公園やグラウンドで影を意識できるように働きかける。 日向と日陰の温度差について、子どもたち一人ひとりが感じられるように言葉かけの工夫や配慮を行っていくことを職員間で確認した。
--

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・園庭遊具の日向にあるものと日陰になっているものを実際に触って温度を感じる
- ・日向で地面に手をかざすと影が地面にあらわれることを知る
- ・遮るものがない状態で地面に手をかざしたり、大きく動くことで影も同じように動くことを感じる
- ・保育者と共に影ふみ遊びに挑戦する

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・子どもたちが興味を持てるように日向と日陰がある遊具のそばまで行き、遊具に触れていくことで、保育者を模倣しながら手で触れる様子がみられるようになった。次第に自分から他の遊具触れながら「あったかいね」「つめたいね」などと温度差を感じる様子がみられるようになった。
- ・太陽を背にしながらか手を上にあげながら影に気が付くように働きかけていくことで、影の存在に気がついて指をさす姿がみられた。
- ・大きく体を動かしたり手を上にあげるなどしてウサギのように動いても影が同じように動くことを感じる様子がみられた。
- ・保育者や友だちの影を踏んで追いかけてっこをしたり、影のある場所に行くと影と影が重なりわからなくなることなどを経験し楽しむ姿がみられた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

- 子どもたちが実際に感じることを第一に言葉かけをすることや環境設定に配慮していくことで、一人ひとりの発見を受け止めることができた。子どもたちの様子を見守るだけでなく、子どもたちからの言葉や動きを逃さずに受け止め、クラスで共有していくことで更なる気づきに繋がっていくことを改めて知る機会となった。
- 大人にとっては些細なことでも子どもにとっては大発見であることや、子どもたちの感性を育てていく上でも保育者が一人ひとりを認め受け止めていくことが必要であることを再認識できた。